

成績評価について

○ 授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・ 学生が履修した科目の学修成果を、シラバスに明示してある学習の到達目標とその評価の方法に基づき、科目担当教員が総合的に評価している。
- ・ 評価基準及び単位認定については、学則及び履修規程に定めている。
評定 A・B・C は合格、D は不合格としている。

評定	評価基準	可否の別
A	80～100 点	合格
B	70～79 点	合格
C	60～69 点	合格
D	59 点以下	不合格

- ・ 単位の授与は、評価後に単位認定会議を行い、単位の認定を決定している。
- ・ 単位の認定は、前期及び後期の各期末の年 2 回実施している。

○ 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

1 各試験科目の評点

- ・ 履修規程により、試験方法は筆記、口答、レポート、実技及び臨地実習評価で行っている。
- ・ 履修科目の成績評価は 100 点満点で評点をつける。

2 個人の平均点の算出

- ・ 当該年度に履修した科目の試験結果の総和を履修した科目数で除算し算出する。

3 成績の分布状態の把握

- ・ 個人の平均点を指標の数値（59 点以下、60～69 点、70～79 点、80～100 点）に分類し、成績の分布状態を示している。